



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 山田 益 幹事 唐澤幸利 会報委員長本田敏和 第2999回 例会2023.8.10 No.1660



世界に希望を生み出そう

2023-24 年度 RI テーマ

CREATE HOPE
In the WORLD**ソング** 我等の生業**会長談話** 山田 益会長

「ノーベル賞」一期一会の積み重ね
 結実。2015年ノーベル生理学、
 医学賞を受賞した「大村智（さとし）」博士は、私の出身大学山梨大
 学の先輩です。私より7歳先輩ですが私の入学時
 1963年には大村先生は工学部発酵生産学科の助
 手となり、発酵途中のワインに含まれる糖の分析
 を担当しました。そして酵母により糖が一夜にし
 てアルコールに変わるのを見て、微生物の持つ可
 能性に興味を持ちました。2年後1965年に北里
 研究所抗生物質研究室に技師補として入所しま
 した。研究室では「核磁気共鳴（NMR）機器を
 駆使して物質の構造を決定する研究をし、抗生物
 質としてすでに使われていた「ロイコマイシン」
 の構造を解明し、1968年この論文で東京大学薬
 学博士号、1970年には東京理科大学理学博士号
 を取得しました。

その後の大村先生は、土壌に生息する微生物が
 つくる化学物質の中から役に立つものを探し出
 す研究を45年以上行い、微生物の大規模な培養
 や有機化合物の特性評価を行う独自の「スクリー
 ニング法」を確立した。これまでに大村先生の研
 究グループは微生物が作る500近い新しい化合
 物を発見し、そのうち20種以上が医薬、動物薬、
 農薬、研究用試薬として実用化されている。1974
 年静岡県伊東市「川奈ゴルフ」CCの土壌から新
 種の放線菌を発見した。そしてこの放線菌が作り
 出す成分を元に米国製薬会社メルクが「アベルメ
 クチン」とその化合物「イベルメクチン」を開発
 しました。抗寄生虫薬イベルメクチンは、熱帯地
 方の寄生虫感染症の治療薬として無償提供され、
 現在も多くの人を熱帯病による失明から救って



いる。2015年には、ノーベル生理学、医学賞の
 半分が「アベルメクチン」の発見を含む寄生虫感
 染症治療法の開発を評価してメルク社「ウイリア
 ム・キャンベル」博士と大村智博士に贈られ、残
 る半分は「アルテミシニン」発見を含むマラリア
 の治療法に関する発見をした中国女性初のノー
 ベル賞受賞となる「屠ヨウヨウ」科学者に贈られ
 た。大村先生は日本の産学連携の先駆者でもあり、
 海外の製薬会社などとのライセンス契約から得
 られたロイヤリティ収入を、研究助成や研究所運
 営、北里大学メディカルセンターの開設などに役
 立てました。人材育成にも力を注ぎ、自身の研究
 室から多くの研究者を輩出し、女子美術大学の理
 事長や開智学園の名誉学園長なども歴任しまし
 した。

日本経済新聞 2016年8月1日から31日
 「私の履歴書」の中から「8月31日 締めくく
 りで」大村先生曰く 私は本当に多くの人に支え
 られてきた。お返しに社会貢献をといつも考えて
 いる。特許料をもとに始めた北里研究所の研究奨
 励金や、1995年に科学振興と人材育成をめざし
 て設立した「山梨科学アカデミー」がその一助に
 なればと思う。

最後に、北里研究所の伝統のさらなる発展を担
 う若い皆さんに贈る言葉は「至誠則旦」（しせい
 そくだつ）：誠を尽くし、いたわりの心をもって
 人に接する。そうすれば必ず道は開ける。

幹事報告 唐澤幸利幹事

1. 地区事務所からのお知らせ
 です。

①秋田県での記録的豪雨によ
 る家屋浸水や土砂崩れなどの
 被害に対し、第2540地区及び



ガバナー会より、8月4日付で支援金のお願いがございました。2600地区として災害義援金口座より、20万円を義援金としてお送りすることと致しましたので、ご報告させていただきます。

2. 上伊那グループガバナー補佐より、地区補助金事業「古着 de ワクチン」の3クラブ合同打合せ会のお知らせです。

日時 2023年8月30日(水) 11:30~
会場 海老屋料理店

お知らせ

- ・本日例会終了後、理事会を開催致します。役員・理事の方はご出席下さい。
- ・8月19日(土)は「納涼例会」です。次回の通常例会は**9月7日(木)**「会員卓話」です。

出席報告 会員数57名 内出席免除者20名
出席者28名 事前メーキャップ1名 出席率65.90%

ニコニコボックス

- ・山田 益、唐澤幸利 更埴 RC 片貝雅彦様、本日はようこそいらっしゃいました。卓話をよろしくお願い致します。
- ・小林孝行 孫が交換留学生として、スイスカッペラにある高校へ留学しました。
- ・藤澤秀敬 伊那祭りの花火がきれいに見えました。、小林さん、下枝さん夫妻と一緒にBBQをしました。
- ・小林句子 この度場所を変えて、バイオレットをオープンする事になりました。どうぞよろしくお願い致します。
- ・倉沢範行 先週体調を崩しましたが、おかげ様で回復致しました。

卓話 ㈱NAGANO SPIRIT

取締役営業部長 片貝雅彦 様
演題-「伊那をバスケで元気に、楽しいをつくる
信州ブレイブウォリアーズ」

信州ブレイブウォリアーズという長野県初のプロバスケットボールチームの運営会社(株)NAGANO SPIRITから参りました片貝雅彦(かたかいまさひこ)と申します。山田会長、唐澤幹事、そして事務局の清水さんから貴重な機会をいただき感謝申し上げます。

さて、私ども信州ブレイブウォリアーズは、実に6年ぶりに伊那の地で試合を、また、同じ会場で地元のこども達を対象にしたバスケットボー

ル教室を9月15日(金)と16日(土)に行います。大変沢山の伊那地域の企業の皆様にご支援をいただき現在49社より協賛をいただき、また上伊那地域でバスケットボールを楽しむ420人の小中学生が本イベントに参加する予定です。本イベントに伊那RC様としてご後援をいただき重ねて御礼申し上げます。

この上伊那地域は元々バスケットボールが盛んな地域で、特に女子は競技レベルが高く伊那中学校の女子バスケット部は全国大会に出場するなど、熱心な指導者の長年の努力が成果を上げています。皆さんの身近なところでは、北原憲彦さんという伊那出身でモントリオール五輪で日本代表のエースとして活躍したスーパースターがいます。北原さんは少年の頃から体が2メートル近くあり高校から東京の明大中野高に行き明治大学、日本鋼管とエリートコースに進んだ方です。このようにこの上伊那地域は昔も今もバスケットボールに縁が深い地域です。

さて、私たち信州ブレイブウォリアーズは約12年前の立ち上げ当初、現行のリーグと仕組みが違い広い県内を巡業しながらホームゲームを行っていました。当時はここ伊那でも沢山の試合を行い、数年前まで上農高校の女子のバスケット部を指導されていた飯島真一先生をはじめとする上伊那バスケットボール協会の皆さんに大変お世話になりました。そんな飯島先生が御年75歳を迎えられるということもあり、再び伊那の地でウォリアーズの試合を開催し、地元のこども達にプロの試合を観て貰おうと企画しました。

またお手元にお配りした資料は、私が所属する更埴RCがポリオ撲滅活動と青少年奉仕活動をプロバスケットボールの興行会場を使って実施した事例としてお持ちしました。

これは、試合を特別協賛として支援しながら、RCとして出展しポリオ撲滅活動の啓蒙や募金活動を行い、同時に地域のこども達にRCが購入したチケットで無料招待するという2つの活動を恒例行事として毎年行っています。伊那の試合は来月9月に迫っていますが、来年2024年の1月には、ここから比較的近い松本市総合体育館でウォリアーズの公式戦を行います。特別協賛といかないまでも、青少年奉仕活動の一環として伊那RC様としてこの機会をご活用いただき、足をお運びいただくと幸いです。

